

KBを利用した授業実践報告5年生 道徳 「けいこのなやみ」



平澤 林太郎(上越教育大学大学院)

小学校5年生でのKBを利用した道徳実践

1 主題名 「けいこのまよい」

(参考文献 荒木紀幸:「道徳教育はこうすればおもしろい～コールバーグ理論とその実践」,1998, 北大路書房.)

2 ねらい

本主題において、道徳的判断力を養うために、「信頼・友情」と「明朗・誠実」の価値の間でおこる葛藤を取り扱う。それぞれの児童が属する道徳的思考の段階よりも一段上の道徳的思考に気づかせることがねらいである。

3 指導計画

第1時：資料を読み、主人公はどうすべきか
考え、判断・理由付けをする。

第2時：第1時の判断・理由付けを、KB上の自
分のラベルを動かすことで可視化する。
その後ディスカッションを行ない、再度、
判断・理由付けをする。

KB使用

けいこはどうすべきか。意見を出そう

2006/09/15 15:32
小出小学校：道徳1 [104]

けいこはどうすべきだろうか

A 休み時間のことを言うべきである。

B 休み時間のことを言うべきではない。

自分かうたがわかるかもしれないから

正直に言うともんなかわかってくれそう

● 教師が子どもたちの意見をラベルに書いていく

1 証希	11 萌加	21 寛光	31 翔矢
2 友也	12 なつみ	22 凜花	32 勇人
3 楓	13 千夏	23 彰雅	33 慎也
4 紗実	14 慎	24 大孝	34 みゆき
5 麻由子	15 祐希	25 史帆	35 陸
6 桃香	16 亜美	26 みなみ	36 綾菜
7 冰芽	17 歩	27 杏樹	37 峻介
8 寛	18 夏実	28 裕己	
9 実希	19 元紀	29 洋介	
10 菜緒	20 将太	30 拓哉	

サムネイル
平澤林太郎
9班
8班
7班
6班

スタート KB2 創発的分業支援シス... 15:32

班ごとにあるパソコンを使って自分のラベルを動かそう。



- 操作が苦手な子は、友だちから助けてもらおう

ラベルを全員動かしたら、ディスカッション。

2006/09/15 15:47:18 創発的分業支援システム Kneading Board [平澤林太郎]

小出小学校：道徳1 [04]

ひい子はどうすべきだろう

A ← → B

A 休み時間のことを言うべきである。

B 休み時間のことを言うべきではない。

自分かうたがわかるかもしれないから	8 寛	29 洋介
	27 杏樹	28 裕己

正直に言うともみんながわかってくれそう	13 千夏	5 麻由子	25 史帆	4 紗実
	26 みなみ	9 実希	12 なつみ	

いった方がすっきりする	20 将太	14 慎	31 翔矢
	7 氷芽	37 峻介	35 陣

うそをついてもあとでわかる	34 みゆき	11 萌加	6 柚香
	36 綾菜	10 菜緒	

いくら仲良しでもやったことはやったことだから言わなくてはいけない	18 夏実	23 彪雅	
	30 拓哉	3 楓	
	15 祐希	33 慎也	19 元紀
	1 祐希	21 寛光	

ひとみに何でさっき言ったの？といわれそう。	17 歩	22 希
-----------------------	------	------

ひとみが傷ついてしまう	32 勇人
-------------	-------

ひとみはわかってくれなそう	16 亜美
---------------	-------

サムネイル

小出小学校：道徳1

平澤林太郎

9班
8班
7班
6班

● 話し合っているうちに考えが変わったら、自分のラベルを動かして理由付けをしてみよう。

A ← → B

スタート KB2 創発的分業支援シ...

15:47

実践を終えて

- 子どもたちは自分の立場をKB上に示すことにより、自分の考えをはっきりともつことができた。
- ふだんの授業で話し合いに参加しない子どもも自分の考えをKB上に示したことにより話し合いに積極的に参加する様子がみられた。
- 文字の入力は子どもたちは行わず、名前のレベルの移動だけなので、子どもたちは容易にコンピュータの操作を行うことができた。